週間漁海況情報－2018年第23号

平成30年6月12日

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

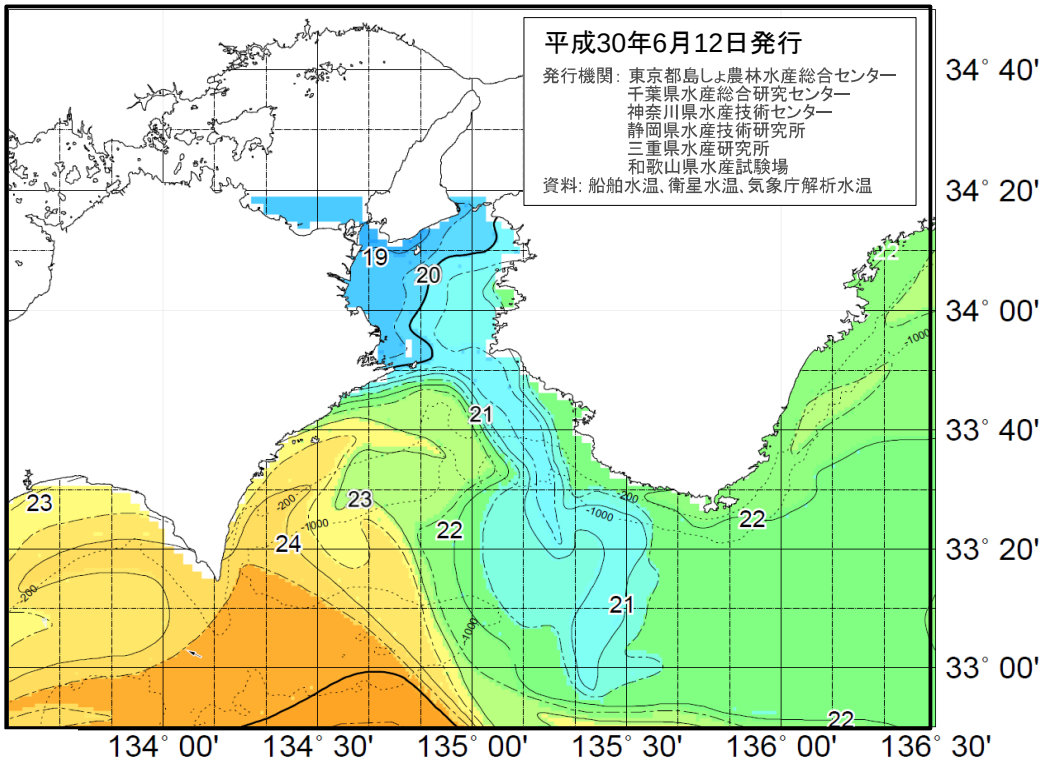
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では8日までは「離岸」で推移していたが10日以降は岸に近づき「やや離岸」となった。潮岬沖では「離岸」で推移した。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で19℃台、紀伊水道で19℃～20℃台、海部沿岸に黒潮北縁からの暖水流入があり、海部沿岸で20℃～23℃台となっている。

黒潮の表面水温は、25℃～26℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現　（いずれも正南方向）

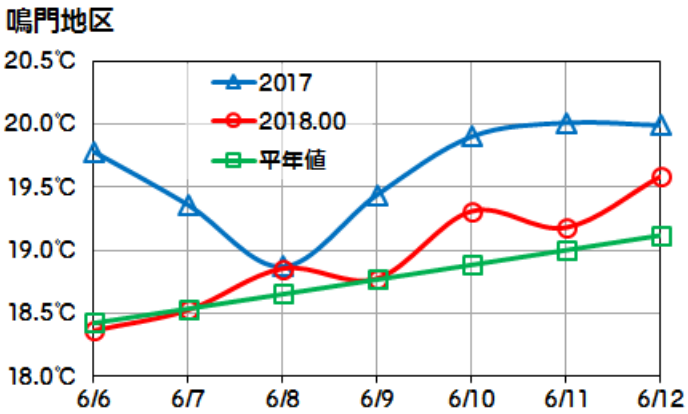
室戸岬沖	接岸：～25NM	やや離岸：25～45NM	離岸45～65NM	著しく離岸：65NM～
潮岬沖	接岸：～26NM	やや離岸：25～56NM	離岸56～86NM	著しく離岸：86NM～

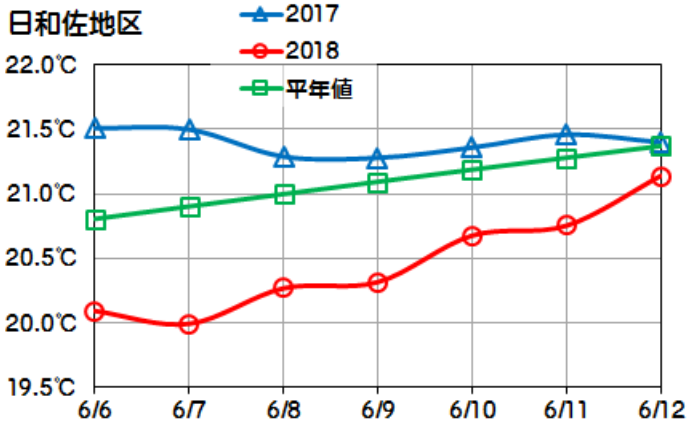
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温（6月6日～6月12日）

鳴門地区の地先水温は、「平年並み」の18.37℃～19.58℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「やや低め」から「平年並み」の20.0℃～21.1℃で推移した。





※水温の高低　平年並：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上

※平　年　値　1982年～2016 年の平滑平均値

3. 週間予報（6月13日～6月20日）

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖では「離岸」～「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の19℃～20℃台、日和佐地区は、「平年並み」の21℃台で推移する見込み。

漁況　2018年6月4日～6月10日（旧暦4月12日～4月19日）

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網では、シラスが大きく減って33.2ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、ハモが8.5ﾄﾝ、タチウオが大きく減って特大主体に0.5ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、ブリが大きく減ってめじろ級主体に1.2ﾄﾝ、イサキが大きく減って小小主体に0.5ﾄﾝ、マダイが0.3ﾄﾝ水揚げされた。
底びき網では、ハモが大きく増えて4.1ﾄﾝ、マダイが0.3ﾄﾝ水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

釣りでは、カツオが大きく増えて0.5ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、カサゴが減って0.4ﾄﾝ、アカムツが0.2ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、マイワシが大きく増えて小主体に0.9ﾄﾝ、とびうお類が減って0.5ﾄﾝ、マアジが小小主体に0.4ﾄﾝ水揚げされた。
大型定置網では、小魚類がいわし類主体に12.1ﾄﾝ、ブリが大きく増えてつばす級主体に3.0ﾄﾝ、マルソウダが2.3ﾄﾝ、マアジが1.8ﾄﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.2ﾄﾝ以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量	（kg）1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	104	シラス	33,150	319		↘↘
	延縄	92	ハモ	8,525	93	中主体	→
		61	タチウオ	524	9	特大主体	↘↘
		30	ゴマサバ	247	8	大主体	↘↘
	小型定置網	18	ブリ	1,247	69	めじろ主体	↘↘
		13	イサキ	517	40	小小主体	↘↘
		25	マダイ	319	13		→
		28	カワハギ	288	10	大主体	→
		24	マアジ	267	11	小小主体	↘↘
	底びき網	59	ハモ	4,115	70	中主体	↗↗
		37	マダイ	378	10		↗↗
		41	えそ類	346	8		↗↗
		42	クロダイ	273	6		↗↗
海部沿岸	釣り	2	カツオ	481	240		↗↗
	延縄	23	カサゴ	380	17		↘
		18	アカムツ	214	12		→
	小型定置網	11	マイワシ	853	78	小主体	↗↗
		42	とびうお類	500	12		↘
		43	マアジ	446	10	小小主体	→
		18	ムツ	205	11	小小主体	→
	大型定置網	6	小魚類	12,133	2,022		↗
			ブリ	3,002	500	つばす主体	↗↗
			マルソウダ	2,345	391		↗
			マアジ	1,782	297		↘
			イサキ	586	98		→
			とびうお類	288	48	中主体	↘

※　前週比　　200%以上:↗↗　120-200%:↗　80-120%:→　50-80%:↘　　50%未満:↘↘